

②井高野小学校区はぐくみネット・瓜破小学校区はぐくみネット

「井戸端会議」日時：【井高野】平成22年7月2日（金）19:00～21:00

【瓜 破】平成22年7月23日（金）19:00～21:00

《取り組みの概要》

毎月1回、地域住民の方々が定例的に学校に集まり、気軽に交流できる機会をつくることで、地域のつながりを広げ、深めている井戸端会議の取り組みを見学しました。

井高野小学校区は平成20年度から、瓜破小学校区は平成21年度から取り組みを始めており、それぞれ毎月の第1金曜日（井高野）、第4金曜日（瓜破）に開催しています。

参加者全員が自己紹介や近況報告を一巡したあとはフリートーク。自分の家族の話から、来月の地域のイベントや学校行事の話題、新聞・テレビの話題まで盛りだくさん。司会者や進行役もいないので、参加者それぞれが話題に話題を重ねる形で自然と進行していきます。そのなかで、学校の取り組みの改善や、新しい地域の取り組みの誕生、情報誌づくりの新しい担い手が出てきたりなど、少しずつですが成果も出てきています。

当日は、見学者も一緒に交流の輪に入ること、取り組み楽しさや意味について体感していただきました。



《見学交流会当日の様子》

【井高野】

井高野校区からは、コーディネーター、PTA役員のほか、保護者や地域在住の日本舞踊の先生など多彩な顔ぶれが参加されていました。

サッカーワールドカップの開催中ということもあり、子どもたちの中でサッカーが流行っているという話から、一方で子どもたちが無気力になっている気がするという話題も。自分の会社の新入社員にも同じ傾向があるという話など大いに盛り上がり、終了時間が超過するほどでした。特に「じつは最近中学校の荒れが出てきているようで心配」という他の校区の方の発言に対して、「がんばる学校をどれだけ地域が支えられるかが大切では」「地域が手に手を取って立ち向かえば」など、取り組みを応援する声が多く出ていました。

【瓜 破】

瓜破校区からは、コーディネーターのほか、PTA役員のOB・OGの方、教頭先生が参加されました。話題としては、他の校区の方から

「自分も含めて多くの役職を兼ねていて、なかなか担い手の輪が広がらない。なにかいい方法はないか」「子どもの数の減少によって子ども会



の運営が難しくなっている」「井戸端会議の広報はどのように？」など、各校区での取り組みの悩みや情報交換から井戸端会議の具体的なやり方まで、幅広い話題が出ていました。瓜破校区のコーディネーターや教頭先生からは、「いつも成果があるわけではないけれど、ワイワイと楽しみながら井戸端会議を続けていくことが大事と思っている。また、気が向いたらのぞきにきてほしい」というお話もあり、この回だけでもすでに新しいつながりが生まれてきていました。

井高野・瓜破の両校区とも、回を重ねるごとにメンバーが少しずつ増えているとのこと。取り組みが根付きつつある様子が見えかけました。